

会 議 録 (1)

会議の名称	飯能市青少年問題協議会
開催日時	平成28年7月26日(水) 開会 午後2時 閉会 午後4時05分
開催場所	飯能市立図書館 多目的ホールA
議長氏名	内沼 利泰
出席委員	岩澤 正明 北野 哲 広瀬 正幸 岡野 早苗 石森 千賀 石田 経子 小熊しげ子 山川 安代 近藤 隆彦 武末 亮一 小見山 進 富澤 武男 井上 貢一 内沼 利泰
欠席委員	永作 稔 泉山 和彦 斉藤 国明 大杉 芳功 守田 隼人 横手 伸行 清水 雄貴 小川 英之 小泉 利一 水野 潔 小澤 正幸
説明者の 職氏名	飯能市立図書館 副館長 大橋 はるか 氏
傍聴者の数	なし
会議次第	1.開会 2.会長の選出及び会長職務代理の指名 3.あいさつ 4.議事 ①「ムーミンとフィンランド～ムーミンの世界観を知ろう～」 講話 飯能市立図書館 副館長 大橋 はるか 氏 ②情報交換 5.その他 6.閉会
配布資料	1. 飯能市青少年問題協議会次第 2. 飯能市青少年問題協議会委員名簿 3. 飯能市青少年問題協議会設置条例 4. 講話資料「ムーミンとフィンランド～ムーミンの世界観を知ろう～」について
事務局職員 職氏名	生涯学習課長 大野美智子 生涯学習担当主査 廣江 暁 生涯学習担当主任 篠原 康之

## 会 議 録 (2)

### 議事の概要 (経過)・決定事項

1. 開 会 生涯学習課長 (14:15)

2. 会長の選出及び会長職務代理の指名

委員の互選により、内沼 利泰委員が会長を務める。

会長職務代理は、会長の指名により井上 貢一委員に決まる。

3. あいさつ 内沼 利泰 会長

井上 貢一 会長職務代理

4. 議 事

①「ムーミンとフィンランド～ムーミンの世界観を知ろう～」

講話 飯能市立図書館 副館長 大橋 はるか 氏より資料を基に講話。

②情報交換

5. そ の 他

6. 閉 会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
図書館副館長	<p>説明要点</p> <p>資料及びパワーポイントに基づき講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーミンに関するDVDの鑑賞。</li> </ul> <p>ムーミン物語の概要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーミン物語とは、フィンランドのトーベ・ヤンソン原作で架空の世界で繰り広げられる話である。ムーミン物語は、本来、文学作品であり、童話全集として出版された。ある経済雑誌では、ムーミンが日本で人気がある理由としてアート性が高いからではないかと伝えていた。出版された年は、第二次世界大戦当時であり、最初の2作品は、実際戦争をしている場面等はないが、洪水やムーミン谷が滅亡の危機に見舞われるような暗い内容で、戦争の影が見える作品となっている。その後、明るい作品となっていき、徐々に内省的な作品に変化していった。</li> </ul> <p>「ムーミン谷の冬」という作品は、ムーミンの自立や成長が描かれている作品である。ムーミン一家が冬眠をしている間に、ムーミンだけが目を覚ましてしまい、パパとママに頼ることができずに自分ひとりで、冬を乗り切らなければならなくなった。そのような状況で、人から助けを受けたり、反対に人を助けてあげたり、人の死を経験したりとさまざまな経験をしながら一冬を越していくという作品である。また、ムーミンママの愛情が感じられる作品でもある。ムーミンが一人で人助けをしたことにより、家の中が散らかってしまったが、そのことは咎めずに人助けをしたことを褒め、ムーミンが経験した出来事をしっかり聞いてあげたところにもムーミンへの愛情が表現されている。</p> <p>トーベ・ヤンソンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーミン物語以外にも、小説や自叙伝の執筆、画家としても活躍をした。また、挿絵画家としても「不思議の国のアリス」や「ホビットの冒険」などの作品へ提供していた。</li> </ul> <p>ムーミンの魅力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性豊かで魅力的な登場人物が繰り広げる所が、ムーミンの魅力なのではないか。例えば、ムーミンママはとても寛容であり、見知らぬ人であって</li> </ul>

発 言 者	発 言 内 容
図書館副館長	<p>もムーミンのどんな友達であっても、全てを受け入れることができる人物である。また、どんな危機的状況でもポジティブな考えができることも魅力的である。ミムラねえさんという登場人物は、自己肯定感が高く「自分に生まれてよかった」や「楽しいことをみつけることなんてたやすい」というセリフを言うような魅力がある。私が疲れた時には彼女にあこがれてみたりもする。というように、この物語は、さまざまな登場人物が魅力的な個性のもとに繰り広げる物語である。是非、今の子ども達に読んでもらいたい本でもある。ムーミン物語は、子どもの頃に読んだ感じ方と大人になって読んだ感じ方と異なることがある。「冒険物語」から「心にグサッとくる名言がある奥深い物語」というように感じ方が変わることが多い。</p> <p>ムーミン物語では、いろいろな名言がでてきて、私生活の中でも役に立っている。内容は大まかにわけて下記のもので挙げられる。</p> <p>1、寛容さ 2、自由 3、自己肯定 4、友情 5、家族 6、人生の知恵と真実 7、自然との共生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友情では、現在は SNS により窮屈な人間関係があるが、本当は、心地よい友達との距離感が必要ではないだろうか。</li> <li>・家族では、自立した親子関係が描かれている。また、子どもへの愛情深い名言も魅力的である。</li> <li>・人生の知恵と真実では、困難などが立ちはだかった時に、その困難を自分で乗り越える経験をすることが大事だと示唆している。また、私自身の生活の中でもハッと気づかされるものがあつた。人生において大事なことを教えてくれる名言が多いと思う。</li> </ul> <p>フィンランドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年は建国100周年。国土の7割が森林、1割が湖沼と河川。教育に力をいれており、教育水準は高い。小学校から大学までほぼ無償で、学習塾もほとんどない。国民性は物静か、親切、シャイ、真面目、頑固など。日本人と似ている気がする。休日は森や湖などへ行き余暇を楽しむ。</li> </ul> <p>「ムーミンとフィンランド～ムーミンの世界観を知ろう～」は以上です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議 長	・ありがとうございました。ただいまの講演につきまして、ご質問などはありますか？
議 長 図書館副館長	・フィンランドへ行くツアーなどはあるのか？ ・最近が増えてきたが、フィンランドだけに行くツアーは少ない。特定の会社が行っており、トーベ・ヤンソンさんのゆかりの地へ行くようなものを企画しているようだ。
議 長 図書館副館長	・一番いい月はいつか？ ・5月末から7月くらいがいい気候だと思う。冬はクロスカントリーを楽しめたり、オーロラを見られたりするので、冬もいいと思う。初めて行く場合は、夏がおすすめである。
議 長	・ありがとうございました。これをもちまして、「ムーミンとフィンランド～ムーミンの世界観を知ろう～」の講演を終わりにします。
議 長	・続きまして、情報交換へ移ります。お一人お一人から活動内容や現状等をお話しいただきたい。
委 員	・私の地区では、子どもの減少が続いており、現在は地区内の学校3校で100人程度である。高齢者と空き家が増えており、地域活性化を含めて対策を考えなければならないと感じている。
委 員	・私の地区の事業で先日、じゃがいもパーティを行い、地域の子どもたちと交流を図っている。健全育成で大切にしていることは、子どもを中心とした視点で活動しなければならないということである。そういう意識で今後も活動をしていきたいと思う。
委 員	・私の地区では、市民会議や市、飯能警察署と連携をして、夏休みの時期の毎週金曜日に飯能河原のパトロールを実施しており、現在は非行防止に重点をおいて活動をしている。
委 員	・私の団体は、まちづくり運動を行っている。その中で、子ども達がこれからも住み続けていきたいと思えるようなまちづくりができるように、会議や議論を重ねている。私の同級生は市外へでている者が多いが、これからも飯能で子育てをしたくなるような「まち」が理想であり、他の団体の方と協力をして取り組んでいけたらいいと思う。
委 員	・私の団体は、市内の青少年関係の団体の代表者などで構成されている組織

発 言 者	発 言 内 容
委 員	<p>である。不登校の子ども達に対して、何か手助けができないかと考えている。過日、行方不明になった子どもがいたが、その時は有志を募り、パトロール活動を実施した。先ほどの委員さんが言われたように、これからも飯能に住み続けたいと思えるような活動をしていきたいと考えている。</p>
委 員	<p>・私の団体は、犯罪者の更生支援だけではなく、子育て支援の観点から、安全なまちをつくっていくことも行っている。また、愛の募金活動を行っており、そのいただいたお金を市立保育所へ図書費として渡している。犯罪がないまちをつくり、子ども達への支援ができればと考えている。</p>
委 員	<p>・私達の団体は、高齢者から子育て世代の方など地域の身近な相談を受けている。地域の方々と連携しながら、子育てママの居場所作りという意味も含め、毎月サロンを開催している。また、高齢者が中心だが、誰でも参加できる場所として、「茶の間」というサロンを行っている。そのサロンには年3回、地区の小学生が生活科の授業を利用して参加している。サロンは、子ども達が福祉にも目を向けるきっかけにもなり、高齢者も子ども達と接することができるので、お互い有意義な場所になっているのではないかと。</p>
委 員	<p>・私達の団体は、県の公安委員会から委嘱されており、11名で活動している。月3回の街頭補導を行っている。また、飯能警察署管内の小学校へ行き3年生に対して、非行防止ボランティア教室を実施している。3年生までには良いこと悪いことを身につけさせたいということで、万引きを中心に指導を行っている。今後も子どもが非行に走る前の段階で防げるように活動をしていきたいと考えている。</p>
委 員	<p>・私の団体は、飯能では現在7名が活動しており、人権相談や人権啓発活動を中心に行っている。啓発活動では、ふるさと祭りや生活祭などのイベントの来場者に対して啓発を行っている。市内の9保育施設の子ども達に対して、人権教室を行っている。優しい気持ち、いじめはいけないこと等を紙芝居により教えている。来年度は学校へ行き、人権教室を行いたいと検討している。</p>
委 員	<p>・私の所属している部署は8つの市を管轄しており、広域で事業を行っている。非行防止や青少年健全育成の観点でいうと第一次は地域活動が主になる。地域での活動では手に負えない案件を児童相談所が行うことになる。</p>

